

2021年（令和3年） 東北花紀行

○令和3年（2021年）6月8日（火） 晴

厚木 IC から圏央道を走り久喜白岡から東北道に乗り岩手の花巻 PA まで

昼 12 時に家を出て、まず近所のセブンイレブンでこれからの道中と明日登る早池峰山での食料を購入した。厚木 IC から入り圏央道を走る。いよいよ今年の花紀行の始まりだ！

今日の車中泊予定地は明日登る予定の「早池峰山」に近い、東北道のパーキングエリア「岩手の花巻 PA」にしてある。550 km ほどの長丁場だ。所要予想時間は 6 時間から 8 時間、20 時か 21 時頃に着けばいいので時間的余裕はある。（高速を降りて早池峰山近くの道の駅で車中泊も考えたが、コロナウィルスの感染が少ない東北各県に、蔓延防止等重点措置が実施されている湘南ナンバーの車を止めたら、何されるかわからず怖いので、昨年と同様、初日は日本中の車が走る高速道路のパーキングエリアを使うのが無難だろうと考えた。）

久喜白岡ジャンクションで圏央道から東北道に入る（15:50）。平日だからかコロナウィルスのせいなのか、道路は空いていて走行車線を時速 80 km 位のマイペースで走れる。羽生 SA、黒磯 PA で休憩し 17 時半に安達太良 SA に到着、レストランで夕食をとったがレストランは 17 時で閉店、仕方なくフードコートで焼肉丼の夕食をとってゆっくり休憩した。

ここでちょうど今日の行程の半分くらいか。まだかなりあるな。でも車が少なく道も良いのでさほど苦労することなく 21 時半に花巻 PA に着いた。

パーキングエリアだから施設はトイレのみ。大型トラックが 20 台位停泊しているが、乗用車は 1 台しかない。今日はここで車中泊し明朝すぐ先の花巻 IC を出て早池峰山へ向う。大型トラックの谷間にぽっかり空いた乗用車スペースに車を止め、早速ベッドメイキング。睡眠薬代わりにチューハイを飲んでベッドにもぐりこみ就寝。長丁場の運転疲れもありすぐに眠りについた。



*東北道走行中の栃木 IC あたりで、私の愛車の走行距離が 10 万 km に達した。この車の前に乗っていた同じ RAV4 が 22 万 km 過ぎて手放したので、2 台の RAV4 で合計 30 万 km 以上走ったことになる。



○ 6月9日（水） 晴
早池峰山・ヒメコザクラ・
（トチナイソウ）



4時起床。天気は良さそうだ。

周りを見ると、車中泊と思われる乗用車は私の他に10台くらい、流通のトラックがいっぱいで、ところ狭しと並んで止まっている。

彼らはこういうSAやPAで寝泊まりしながら日本中を走っているのか、大変だな。

歯磨き、洗顔し、寝具をたたんで、食事を摂らずに早池峰山へ向かって出発した。

高速を花巻ICで下り、一般道を登山口の河原の坊駐車場へ向かう。214号から43号に入り早池峰湖へ。早朝なので車は殆どいないが、私の後の方をかなり離れてついてくる車が1台ある。早池峰湖には道の駅「はやちね」があるが、あまり静かなので気がつかず通り過ぎた。ここから宮古の方へ抜ける25号線を西へ走る。舗装はしてあるが早池峰山の麓を抜けて行く細くてカーブが多く急こう配の険しい道になる。しばらく走ると広い駐車場があったので、ここが河原の坊駐車場かと思って入ってみたら、後からついてきた車も入って来た。

つくばナンバーの車のおじさんだ。早池峰山に登る単独行らしい。駐車場に設置されていた案内地図を見たら河原の坊駐車場は、まだけっこう先のようなのだ。

「まだ先そうですね」と云って先に進んだが、ここからの道が凄かった。森の中を走る曲がりくねった急こう配で、いつ消えるのかとおもうほど狭くて寂しい道だ。この先に本当に駐車場があるのかと半信半疑。対向車が来たらどうしようかと心配しながら登って行くと、少し道が広くなり左側に何段かに分かれた駐車場が現れた。入口に「河原の坊駐車場」と書いてある。やれやれ無事着いた。10年余昔にも来てここに駐車しているのに全く記憶が無かった。

もっと楽に来たような記憶があるが若かったからかな。

6時半前に到着した。牛乳とサンドイッチで簡単に朝食を済ませ、登山の支度をしてさっさと出発した。天気は快晴、早池峰山が高く聳えて光っている。



河原の坊駐車場



駐車場の向かい側には「早池峰総合休憩所」なる立派な施設が建っている。

ここ河原の坊からも登山道があるが、今は土砂崩れでここ数年通行禁止になっている。以前来たときはここから登って小田越口へ下りたと記憶している。



河原の坊登山口（閉鎖中）

今回は仕方ないのでこの先にある小田越登山口まで歩くことになる。上り勾配の自動車道を歩くこと 40 分、小田越登山口に到着。標高差は 200m もあり、太陽が照りつける炎天下、もう一汗も二汗もかいた。

道端にはツボスミレやズダヤクシュ、ムラサキヤシオなどが咲いていた。



小田越登山口で登山者カードに記入して 7 時半に登山開始、今日の入山は 3 人目だった。



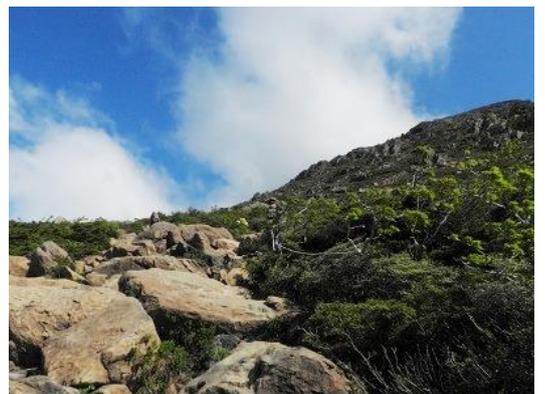
小田越登山口



はじめは林の中の木道を進む。木道の両脇にはミヤマスマレやオサバグサ、ミツバオウレン等いろいろな花が咲いている。



しばらく木道を進むと林を抜けてパッと開け、目の前に早池峰山の岩山が青空をバックに覆いかぶさるように迫って見えた。これからは何も遮るものの無い絶景の中、点在する大きな岩の間を縫って登る砂礫と岩の登山道が山頂まで続く。見渡す範囲には登山者の姿は全く見えず、雄大な景色を眺めながら一人静かな山を楽しみながら登った。今回のこの早池峰山に来た目的の一つはトチナイソウを探すためだが、調べたり聞いたりして来たところによると、この辺りの岩の陰に咲くらしい。岩の回りを注意して見ながらゆっくりと登って行くと、チシマアマナやミヤマシオガマは見るが、どこにもトチナイソウらしき影は見あたらず、とうとう五合目まで登って来てしまった。



五合目から上には無いことが分かっているから、見落としてしまったのだろうか。仕方ない、下りでもう一度探しながら歩こう。

ヒメコザクラはちょうど花期で、五合目へ来る道沿いにその白くて可憐な花をいっぱい開いて迎えてくれた。登山者がほとんどいないので、誰に気兼ねすることなく満足するまで写真を撮ることが出来た。



その他にナンブイヌナズナやチシマアマナが沢山咲いていたし、ミヤマシオガマやウラシマツツジも咲いていた。

五合目からは緩斜面の砂礫の登山道となり、しばらく歩くと、山頂へ向かっての岩場の急斜面となる。背中に夏の太陽の直射をうけ大汗をかきながら岩場をよじ登る。岩陰から顔を出しているヒメコザクラやチシマアマナが疲れを癒してくれる。花々の写真を撮りながらのんびり登っているので、途中数組の登山者に抜かれたが登山者はそれくらいで殆どいない。花を撮りながら、景色を眺めながら、マイペースで静かな登山を楽しんだ。



早池峰山の名所、一枚岩に付けられたハシゴに到着。シーズンには込み合うのだろうが、今日は誰にも煩わされることなく、のんびり慎重に登った。登ったところが八合目だ。山頂は雲がかかって来て見えないが、下の方は良く晴れていて展望を楽しむ。眼下にはさっき車を止めた河原の坊駐車場がはっきり見え車も沢山止まっている。

ここから山頂まで登っても花はあまり期待できないし、今回の目的はヒメコザクラとトチナイソウに出会うことであり、これから雲のかかった山頂まで行く必要も無いので、この八合目で引き返し下山することにした。岩陰に腰を下ろし軽い食事を摂ってゆっくり休憩し10時に下山を始めた。



雲がかかっているのは山頂付近だけで、下りの道は晴れた空から太陽が照りつけ少々暑いが視界が良く、風が爽やかで快適だ。登ってくる登山者も少なく、たまにすれ違う程度。

道の両側にはヒメコザクラやチシマアマナ、ナンブイヌナズナやミヤマキンバイ等の花々が咲いていて、写真を撮りながら楽しく下り五合目を過ぎた。



ヒメコザクラ



チシマアマナ



ミヤマキンバイ

さてここからは岩の間を注意して探しトチナイソウを見つけなければならない。ここぞと思われるところは何度も戻って探しながらゆっくり下ったが全く見つからない。とうとう岩場を下りきって林間の木道まで来てしまった。トチナイソウに出会うことは出来なかった。

そういえば固有種の花ハヤチネウスユキソウも見なかった、と云うよりまだ芽を出したばかりで花芽も無かったし、イワウメも花芽がやっと付いたばかりで開花が無かったので、トチナイソウの花にはちょっと早かったのかもしれない。私は花を探すのが下手だから見落とした可能性も無くはないが、三年間も通いつめて探しても見つけることができない人もいような希少種だから、ポンと来て一回で見つけようなどと思うのは虫が良すぎたかな。早池峰山のトチナイソウは私には「まぼろしの花」として取っておくことにしよう。

小田越登山口に着いたのがちょうど12時だったので、ベンチで昼食をとり河原の坊駐車場へ戻った。朝は数台しか止まっていなかった駐車場は結構満車にちかいぐらい沢山止まっている。天気が良いので早池峰山に登る登山者だけでなく、遊びに来ている人もいようだ。

今日の宿泊予定地の「道の駅・とうわ」へ向かい、3時過ぎに到着した。数年前にも泊まったことのある懐かしい道の駅だ。東和の町のセブンイレブンで今晚と明日の食料を買い出し、伊勢原から600km以上も走ってカラカラになったガソリンを補給した。157円/リットルと実に高価なガソリンだった。

4時過ぎの東和は太陽がキラキラで真夏の暑さだ。まず道の駅に隣設している東和温泉に飛び込んで汗を流し、長距離ドライブと早池峰山登山の疲れを癒した。さっぱりしたところで駐車場の片隅で夕食の支度。まだ5時過ぎで陽は高く陽ざしが強いが、先ほどセブンイレブンで買って来た惣菜類を肴にしてビール大缶で乾杯！ 実に旨い。



前回夏に来た時は、ここで車中泊していた車がけっこうあったが、今日の駐車場は温泉に来る人の車だけで、車中泊は誰もいないようだ。だれにも煩わされることなくビール大缶、次に缶チューハイ、ヤサイサラダやカニカマで一人ご満悦だ。陽がやっと傾き陽ざしが無くなったころには、すっかり出来あがってしまった。まだ明るいのに今日の一日を終えて眠りについた。車はいないし、心配したコロナに関して湘南ナンバーは全く心配いらなかった。